

令和7年度 大田区立都南小学校 学校経営計画

令和7年 4月1日
大田区立都南小学校
校長 竹内 治美

大田区の教育がめざすこども像

- ・意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動することも
- ・多様性を尊重し、自分や人を大切にして生きるこども
- ・地域とつながり、社会の一員として貢献しようとするこども
- ・自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出すこども

おおた教育ビジョン

笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てる

〇持続可能な社会を創り出すグローバル人材の育成

- ・予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成
- ・世界とつながる国際都市おおたを担う人材の育成
- ・一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成

〇誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出す

- ・学校力・教師力の向上
- ・自分らしくいきいきと生きるための学びの支援
- ・柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境

〇すべての区民が未来を担うこどもを育て、ともに学び続ける

- ・学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校
- ・生涯学び続ける環境

元気な笑顔あふれる都南小学校 未来に向けて共に学ぼう都南の子

学校教育目標

- 1 健康で明るい子
- 2 よく考え行動する子
- 3 人を愛するやさしい子
- 4 終わりまで仕事をやりぬく子

めざす学校像

- ① 児童が楽しく通う学校
児童の自己肯定感を育成し、何事にも前向きに取り組めるようにする。
- ② 保護者に信頼される学校
保護者との連絡を密にして安心して送り出せる学校にする。
- ③ 地域に愛される学校
地域に開かれた教育活動を推進する。

学校の教育目標を達成するための基本方針及び具体的な取り組み（自己評価アンケートとの連携）

学力・体力向上

授業は楽しい R5:82.6%→ R6:86.4%
(児童アンケート) R7 目標値 89%

学力向上に向けての取組

学習・学年・地域の力 対話で育つ都南の子

- 個別最適化した、創造性を育むICTを活用した教育の実現
- 児童が主体的に学ぶ意欲を引き出す授業改善(知的好奇心を刺激)
- 「都南の学びあい」継続指導で学習規律を徹底。
- 算数少人数指導・習熟度別指導の実践やステップ学習等で基礎基本の定着を図る。
- 都道府県検定、県庁所在地検定(本校オリジナル)の実施 ※4年生以上
- 読書活動の充実 読書学習司書と連携し朝読書や読み聞かせに取り組み豊かな言語能力を養う。
- 補習授業の充実 「スクールサポートとなん」による11回の平日補習実施する。
- 低学年の外国語活動授業時数増加(8時間→25時間)
- 教科「おおたの未来づくり」の学習を通して、課題解決・新たな価値を創造する力の育成を図る。
- 校内研 R7. R8大田区教育研究推進校として、道徳科「自他を認め、よりよく生きようとする児童の育成(仮題)」をテーマに授業研究を行う。

体力向上に向けての取組

- コーディネーショントレーニングに関する教職員の研修を実施し、体育の時間や朝の時間に「元気タイム」として行い、体力向上を図る。

豊かな心の育成

自分にはよいところがある R5:84.2%→ R6:84.4%
(児童アンケート) R7 目標値 87%

自己肯定感の育成

- ① どんなときも「あなたの味方」という思いをこども達につたえる。②こども達が積み重ねる成功体験を見逃さず、必ず心を込めてほめる。③成果だけでなく、その子その子の努力の歩みを評価し、認める。④こどもの思いに傾聴し、それを受容する。⑤こども達が「今日もいい日が始まった」と学校生活を迎えることのできる毎日にする。
- 学年力の向上
学年に応じて「学年力アンケート」を実施しレーダーチャートによって視覚化することで、児童自らよりよい学年にしようとする気持ちを育てる。
- 縦割り班活動「ともだち班」を実施し異学年の結びつきを深める。

自分から進んで挨拶した R5:95.6%→ R6:94.2%
(児童アンケート) R7 目標値 97%

生活指導

- 「都南小10のやくそく」の継続的な指導により生活のきまりを徹底させる。
- 毎朝、教員、児童が校門に立ち一体となって「いつでもどこでも笑顔で挨拶のできる子」を目指す。
- SNS、ゲーム利用についての指導の徹底
セーフティ教室等を実施し繰り返し指導する。
- 不登校・不適応児童対策
配慮児童への全教職員での取り組み
・週1回の生活指導夕会の充実
・関係機関と連携して保護者支援。
- 特別支援校内委員会の充実
スクールカウンセラー・専門員の活用
- 安全点検カード・地域安全マップの活用
(エコ・防犯・施設の安全管理・防火等)

保護者・地域・近隣校との連携

- 教育活動の積極的な発信
年3回の学校公開や行事を通して日常の学習の様子を公開する。
ホームページや学年・学級だより等を積極的に活用し情報を発信する。
- 保育園・幼稚園との連携
生活科等を通して交流する機会を設ける。
幼保小の接続を滑らかにするために情報を共有する会を実施する。
- 小中一貫教育の推進
学力向上をテーマに小中合同で授業公開や協議会を実施する。
6年生による中学校授業参観を実施する。

学校は教育内容を分かりやすく伝えている。
R5:90.1%→ R6:87.2%
(保護者アンケート) R7 目標値 90%

- 地域教育連絡協議会の実施
授業協力や外部評価などの場とし、教育活動の充実を図る。
- 学校支援地域本部「スクールサポートとなん」との連携を図り、開かれた学校づくりを進めるとともに体験的な活動の充実を図る。
- 「都南放課後ひろば」との連携
日常的にこどもの様子について情報交換を進め、こどもが安全・快適に過ごせるように支援する。